

● 韓国語講座が新たなスタート ●

利用者が楽しく韓国語を学ぶ

この7月で休会していた今年度の韓国語講座がこの10月から新たな講師を迎え再開した。10月23日には第1回、11月16日には第2回が戸畑区の「育成会会館」で行われ、この7月まで受講していた各施設・事業所等の利用者13人が出席。和気あいあいとした雰囲気の中で楽しく韓国語を学んだ。

テーマは「みんなで楽しく韓国語を学ぶ」。法人主催の「韓国語講座」が、この10月から月に1回、新たに早稲田大学院（北九州キャンパス）2年生のユン・ジョンビンさんを講師に迎え、再開した。再開にあたっては、この7月まで受講していた各施設・事業所等の利用者を対象に呼びかけを行い、ほとんどの利用者が10月からも受講。再開を楽しみにしていた。

10月23日の1回目、久しぶりに講座のメンバーに会い、うれしそうな笑顔を見せる利用者。はじめは新しい講師に少し緊張する様子もあっ



韓国語で名前を紹介するなどの自己紹介をする利用者

たが、すぐに打ち解け講座がスタート。この日は、1回目ということで、まず講師からパワーポイントを使い自己紹介が行われ、出身の釜山の食べ物や韓国の民族衣装であるチマチョゴリの流行、食事作法、歳の数え方など韓国の文化についても紹介があった。写真でわかりやすく紹介が行われ、利用者からも「釜山に行ったことあるよ」「男性のチマチョゴリの流行はどうなっているの」など活発に質問等が出された。



楽しそうに韓国語講座に参加する利用者

また、あわせて関連の韓国語の単語が紹介され、メモを取り真剣に学んでいた。その後、利用者も自己紹介を行い、韓国語で名前を紹介するなど、この7月までの学習の成果を披露したり、趣味や仕事のことを紹介したりした。また、11月16日の2回目の講座では、写真で韓国の正月やお盆などの行事や、韓国料理「ビビンパ」の作り方などが紹介されるとともに、関連の韓国語、韓国文化などを学んだ。さらに、この日は講師が実際に「ビビンパ」の調理された材料を少しだが持ってきてくれ、その場で盛り付けをし、利用者みんなで試食会も行われた。盛り付けられた「ビビンパ」を携帯で写真に撮ったり、「マシッソヨ（美味しい）」などの感想が聞かれたり、楽しそうに講座に参加する利用者の姿が見られた。

10月から再開した韓国語講座。和気あいあいとした雰囲気の中で、利用者も楽しく韓国語を学んでおり、育成会ではこれからも利用者が“笑顔”になれる場や機会をつくっていくとしている。